

令和2年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 令和3年2月

2 開催場所 書面会議

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	早川 敦
副委員長	大野 俊江	委員	片寄 礼子
副委員長	齋藤 隆彦	委員	山田 まち子
委員	庄司 三喜夫	委員	篠原 和行
委員	代田 雅文	委員	前田 元子
委員	田中 輝博	委員	石井 喜三江

4 報告

(1) 令和3年袖ヶ浦市成人式代替行事の実施結果について

5 議題

(1) 令和2年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

(2) 令和3年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

6 議事

報告（1）令和3年袖ヶ浦市成人式代替行事の実施結果に対する意見

稲毛委員長

青少年相談員の撮影パネルの設置は各会場とも良かったと思う。又、記念品については、受け取り期限が2月28日となっているが、とりにこなかった人については対応をどの様にするか。

コロナの関係もあるので撮影については、来年もやる様になった時は、時間等を考えてほしい。

大野副委員長

青少年相談員の協力により撮影スポットが用意された事が素晴らしい取り組みでした。

齋藤副委員長

実施と中止のせめぎあいの中、事務局をはじめ関係者の皆さん方の御苦勞は、本当に大変だったことと思います。

こうした中での代替行事の実施については、新成人の皆さんも、こうした成人式は大変残念だとは思いますが、この状況下では、理解していただけるのではないのでしょうか。

また、青少年相談員の皆さん、大変お疲れ様でした。

庄司委員

コロナ禍、しかも緊急事態宣言下においては、このような実施方法もやむを得ない。しかし、そんな中でも記念写真スポットの提供など、良い取り組みがなされていた。

代田委員

成人式は中止、代替行事となりましたが、コロナ禍致し方なかったと思います。

田中委員

コロナ禍の中、ご苦勞様でした。

早川委員

特に意見等はございません。

片寄委員

成人式中止の決定から短期間で代替行事を実施されたこと、すべての関係者の皆様に感謝いたします。

代替行事は、市のホームページから見ることができました。5館すべての様子が分かり、撮影パネルの前での新成人の笑顔が印象的でした。

撮影パネルについて、短期間の中で5館すべてデザインを変えて用意してくださった青少年相談員の皆様の袖ヶ浦市を愛する心とご苦勞に感謝いたします。

失礼ながら、予算措置が気になります。

山田委員

式典ができず新成人が一同に集まることができずとても残念なことでしたが、パネルの設置は天気にも恵まれ、保護者にも好評でした。

篠原委員

新型コロナウイルスの流行のなか緊急事態宣言発令があり、急に計画を変更せざるを得なくなり、教育委員会（公民館）の皆様方はとても大変だったと思い

ます。本当にお疲れ様でした。

代替え行事5つについては、成人者にとってもよかったと思います。記念写真撮影スポットの提供は、成人者の写真撮影だけにとどまらず、お互いに会う機会が与えられたと思うのでよかったです。また、このスポットを活用した方々が50%近くいたこともよかったです。平川地区の利用者が70%を超えていたのには驚きました。公民館の皆様方のご労苦に感謝いたします！

前田委員

式典が中止となる異例の中で、ご苦労も多かったことと思います。そのような中でも、新成人の門出を祝う、さまざまな取り組みがなされたことは大きな成果だと思います。

特に印象に残ったのは、平川公民館で活動する書道サークルからのたて看板によるお祝いメッセージでした。保護者や恩師以外の一般市民からのお祝いメッセージは心温まるとともに地域（ふるさと）を意識するきっかけにもなったのではないのでしょうか。

石井委員

記念写真撮影スポットの前で本人たちがポーズを撮って楽しんだようで、安心しました。今まであたり前に行われてきた式典ができなかったのは、残念でしたが、これを機会に、成人としての覚悟を再認識していただける機になってくれればと念じています。どんな時代が待っているのか、皆で考えたいものです。

議題（1）令和2年度市民会館・公民館事業の成果と課題に対する意見

稲毛委員長

コロナウイルスの関係で各公民館も事業が少なかった中で、公民館まつりは各館とも作品が少なかったのと、小中学生の作品がなかったのがさみしかった。（根形公民館と平岡公民館は少しありました）

大野副委員長

長浦公民館の男性セミナー 室内の密をさけての屋外調理教室が好評であった…他館でもできることがあるのか挑戦してほしいです。

根形公民館の地域人材育成講座「防災講演会」 講師の実体験からの避難所運営が学べた事すばらしいです。

中学生対象に講演体験会が企画されているとの事。市内すべての生徒には是非！

齋藤副委員長

コロナ禍での事業運営は難しいところが多々あったかと思います。

あたり前のことがあたり前にできない、このようなときに公民館として何かできないか。Y o u T u b e など動画配信を活用して発信するようなことができないか。

庄司委員

コロナ禍の中では、開催事業が縮小や中止になるのはやむを得ない。しかし、昨年度まで毎年課題となっている「幅広い世代に参加していただけるような講座の企画」、例えば根形公民館の「ねこまる」のような企画については、引き続き他の公民館も検討していく必要がある。

代田委員

令和2年度は台風の上陸はなかったのですが、コロナ禍5か月の休館があり、一部事業の中止又は変更と、参加者の減少も止むを得ないことです。各館とも対応に苦慮されたようですが、この経験を次年度に活かしてほしいです。

田中委員

20ページの長浦公民館の成人教育推進事業の課題で、各事業の整理が求められているとありますが、本事業に限定されないともあります。長浦公民館の他の事業についても、また長浦公民館以外の全館の事業についても言えるのであれば、是非問題提起をしていただきたい。コロナ禍がもたらしたことも知れないです。

26ページの根形公民館の地域人材育成講座の課題で、地域住民の声を聴きながら公民館が地域課題を吸い上げるとあります。どうやって地域の様々な声を聴くのか、仕組みは、仕掛けは何か教えてほしい。そして吸い上げ、企画運営するのが公民館でいいのだろうか。住民が主体的に取り組まないと人材育成にならないのではないかと思います。

早川委員

特に意見等はございません。

片寄委員

市民会館 「うたたねハッピーくらぶ」の参加者数148人、根形公民館79人とありますが、カウントの仕方は？

親業訓練講座等の広報は、チラシ、自治会回覧等工夫がみられます。より参加者の増につながることを期待します。

「昭和ふれあい教室」の防災講演会での「平日に頼りになるのは皆さんです！」は高齢者を頼りにすることで、高齢者にとってやりがいの出る企画と思います。

各事業の課題を確実に分析し、把握され、来年度へ向けての方向性が感じられます。

平川公民館 中止せざるを得ない事業の多い中で、「園芸講座」が健闘したと思います。参加者のニーズにより対応できるよう、講座の種類を増やす等御検討願います。

長浦公民館 コロナ禍の影響が大きいのか、各事業に対する取り組みが消極的に思われます。各事業の課題を的確に分析、把握され、翌年度に反映していただきたい。

成人教育推進事業の課題の文言について、前年度と同じ文言で「各事業の整理が求められている」とありますが、来年も整理（縮小）するのでしょうか？今年度の「ながうら遊学塾」は、前年度の3事業が整理された事業と思います。

根形公民館 昨年度の課題をクリアして、確実に今年度事業に反映させている積極的な姿勢がコロナ禍にもかかわらず感じられます。また、今年度の課題についても、的確に把握されているので、来年度の事業展開に期待します。

平岡公民館 「国際理解セミナー」の成果について、昨年度のコメントと同じであり、実績と一致していないのでは？

「平岡シニアセミナー」の『平岡地区歴史探訪』ウォーキングは、地域の歴史を学びながらウォーキングも楽しめるというもの、私も参加したい企画と思いました。

全館共通事項について、地域家庭教育学級、中学校家庭教育学級活動は、コロナ禍の影響を特に受け、事業運営に苦心されたと思います。児童、生徒の安全面を最優先で事業の実施の可否の決断をしても良かったのではと思います。

山田委員

公民館の利点でもある、交流や体験がコロナのため生かしきれなかったのは残念です。サークル活動も講座も足を運んでも中止や制限があり参加できなかった。仕方ないことだが計画した内容で回数は少ない事業は実施期日を記入してほしい。

篠原委員

コロナ禍で計画した事業ができず残念であり大変でもあったと思います。しかし、見方を変えてみると、休館等があり、職員の皆様にとっては様々なことを考える時間を与えて戴いた貴重な期間だったのではなかったかと思います。様々な状況の中でいかに公民館活動を実践していけばよいか、いろいろと考えられたのではないのでしょうか。この1年間の経験を来年度以降に生かし、新しい（工夫した、新しい方法等々）事業ができるのではないのでしょうか。期待してお

ります。

前田委員

どの館も成果と課題の分析がきちとなされ、とてもよいと思いました。地域性による課題は、次年度の重点に取り上げていくと、その館の特色が更に明確になると思いました。

高齢者いきがい促進事業については、①市民会館での取り組みは魅力的な内容に加え、タイトルやキャッチフレーズの工夫により多くの参加者があったことは大きな成果 ②根形公民館の課題は、どの公民館にも共通する大きな課題だと感じました。

石井委員

どの公民館も特色ある運営で頑張っている事に、感心しています。

どんな状況であれ、市民会館、公民館は市民にとって、安全で健全な(より所)場所ではなくては、いけませんから、事業の中止や縮小はやむを得ないと思いますし、各サークルの活動はイベントとしては成り立ちませんでしたが、毎週の活動としては、7割がた達成できたのではないかと思います。

議題(2) 令和3年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策(案)に対する意見

稲毛委員長

幼児家庭教育学級では親が乳幼児の子育てが大変である為に、親同士の話し合いのできる場所があったら良いと思う。

大野副委員長

事業の見直し、整理がされはじめた感あり。

家庭教育学級、各館新たな取り組み 全市域対象 期待したい。

受講者が主体となり活動展開できる講座にも期待です。

齋藤副委員長

市民が気軽に事業へ参加できるような方策、市民への発信をどのようにするのか。多くの市民に注目されるような広報のやり方を検討すべきと思います。

(個々の事業の参加率向上)

庄司委員

施策③としては、大前提として駅前海側地区の社会教育の拠点を整備していく必要があると考える。特に災害時の避難場所としての奈良輪小に問題があるならば、この地区の社会教育施設は早急に整備する必要がある。

田中委員

重点施策として、基本目標を実現するための施策の方向性で示すとあるが、この基本目標「未来を創る 心豊かで いきいきとした人づくり」が、イメージが全くつかめない。よって、イメージが不明なものを実現することがとても可能とは思えず、方向性が出せるのかなと思ってしまう。基本目標に無関係に方向性は決まっているのだと思わざるを得ない。その方向性にそって作られた施策が実施されたあと、目標に対してどうだったのかの検証はできるのだろうかと疑問に感じている。PDCAサイクルを回すことが可能なのだろうか。

方向性(1)について、生涯にわたる主体的な学習活動を支援するとあるが、施策①、施策②がどう関わるのかわからない。施策③、施策④で各館とも社会教育推進員活動やHP更新となっているが、何が課題で、どうしようとしているのかわからず、これで方向性にそっていけるのか疑問である。

方向性(2)について、地域の教育力の目指しているレベルはどこなのか。現状はどのレベルなのか不明である。

方向性(3)について、現状は人と人とのつながり、支え合いが希薄になっていると言われる。それは何故なのか、何が原因なのか、その原因をとり除くために教育活動として何ができるのかの解析があつてこそ、施策も決まってくるのではないかと感じる。まさにPDCAであると思う。教育の専門家の皆さんからのご教授をよろしくお願いいたします。

早川委員

特に意見等はございません。

片寄委員

第三期教育ビジョンの基本目標を実現するための4つの目標のうちの2番目の目標(生涯学習)を実現することが、市民会館・公民館の主な任務(仕事)と理解しました。

その観点からみて、『施策の方向性(1)』の項目のうち、「施策①公民館運営審議会の意向の反映」「施策②公民館運営の点検と評価」が、トップにありますので、少々違和感があります。別欄を設けて記載していただいても良いのではと思います。

また、審議会の意向は、それが適切であれば公民館運営に確実に反映させていただきたいと思っております。

事業評価方式（P D C A方式）は、通常の運営審議会においても常に意識して臨むことが必要と再認識しました。

市民会館・公民館主催事業（案）について、市民会館と平川公民館と合同の「乳幼児家庭教育学級」、長浦公民館「子育てパパ応援講座」、平岡公民館「お子さんと一緒に！健康な体づくり講座」の講座、楽しみです。

なお、根形公民館の「乳幼児家庭教育学級」は、「ワーキングママ支援講座」として整理されたのでしょうか？

山田委員

経営方針・重点施策共細部にわたり公民館事業に生かされ計画ごころう様でした。次年度、コロナがいつおさまるかわかりませんが、予防につとめ実践されることを望みます。

篠原委員

来年度は方針としてはいいと思いますが、実施の仕方を今までの枠組みで考えずに重点施策を実行できるように「考え方、方法（論）、実施する場所（会場）、働きかけ方等々を色々と試して（実践して）いってほしいと思います。

公民館利用者や講座・教室の参加者に、「みんなが輝く協働のまちづくり」の担い手（一員）であることを意識させ、活動していくように働きかけていってほしいと思います。

前田委員

あまり欲張らず、ウィズコロナにおける新たな視点での学びの支援を考えていく試行錯誤の期間とされたい。個人的には、人とのつながりを大切にした「さわやかセミナー（働きざかりの男塾）」「溜まり場」「ひらおかハッピータイム（世代間交流事業）」に期待します。

また、避難所の設備として、テント、ダンボールのついたてなど整備面の改善は検討されているのか知りたいところです。

石井委員

第三期教育ビジョンの基本目標にむけ「人生100年時代に向け、誰もが輝ける学び」を支援するとうたっていて非常に感銘を受けます。

「ウィズコロナ」という言葉は個人的にひっかかる言葉で「コロナ0（ゼロ）」でない、と思います。「アフターコロナ」で私たちの生活がどのように変化していくのか？家族に、子供に、そして学校生活に。よくふまえた上で、親業訓練一般講座の開催に期待します。

その他の意見

稲毛委員長

若い世代の人たちを公民館に来てもらえるかを考えなければならない。
高齢化社会の為に公民館にくる足をどの様にしてやれるか。

大野副委員長

文化祭の代替行事について、やはり子供達の参加の有無が入場者数に反映されています。

こんな時期だからこそ学校内にて展示されない作品などを公民館で発表の場をお願いします。

片寄委員

はじめての書面会議、書面にまとめることは、通常の会議より時間はかかりましたが、会議終了時間を気にすることなくできました。

質問や意見交換ができないことは、残念ですが、今後の会議のあり方について考えるきっかけとなるのではと思います。

篠原委員

コロナ禍で振り回されたこの一年間でしたが本当にご苦労様でした。

これからは益々やる気を前面に出した一年間を過ごさなければならないと思いますので、公民館の皆様方のアイデアと実行力を見せて頂き、公民館がより市民の皆様になくてはならない存在になるよう期待します。

石井委員

ワーキングママ支援講座で福嶋氏によるお金の運用の講座アンケートがありましたが、とても興味をひく題目で、受講した方にも好印象のようでした。是非機会がありましたら、市民会館でも機会をもうけて頂きたいです。

以上

令和2年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

令和3年2月

書面会議

次 第

1 報告

- (1) 令和3年袖ヶ浦市成人式代替行事の実施結果について

2 議題

- (1) 令和2年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 令和3年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）について

第24期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.	氏名	選出区分	備考
1	しょうじ みきお 庄司 三喜夫	学校教育 小中学校長会代表	2期目
2	しろた まさふみ 代田 雅文	社会教育 文化協会代表	2期目
3	たなか てるひろ 田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡協 議会代表	3期目
4	はやかわ あつし 早川 敦	社会教育 音楽協会代表	3期目
5	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会代表	委員長 8期目
6	さいとう たかひこ 齋藤 隆彦	家庭教育	副委員長 3期目
7	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者	副委員長 5期目
8	かたよせ れいこ 片寄 礼子	学識経験者	3期目
9	やまだ まちこ 山田 まち子	学識経験者	2期目
10	しのはら かずゆき 篠原 和行	学識経験者	1期目
11	まえだ もとこ 前田 元子	学識経験者	1期目
12	いしい きみえ 石井 喜三江	公募委員	1期目

任期 令和2年7月1日から令和4年6月30日まで

報告（1）令和3年袖ヶ浦市成人式代替行事の実施結果について

新成人の門出を祝うため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じたうえで、成人式の開催に向けて準備を進めたが、市内及び近隣市の新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加により、新成人やその家族、市民の健康と安全を守るため、成人式を中止とした。

新成人が一堂に会し晴れの日を祝うことはできなくなったが、成人の日は新成人の新たな門出を祝い、成人としての自覚を認識する日でもあるため、新成人を祝う成人式に替わる取り組みを行うこととした。

1 経過

12月24日 袖ヶ浦市成人式の中止を決定

- ・新成人実行委員、議長、県議、教育委員、自治連代表、議会事務局へ中止の連絡
- ・市ホームページ、ツイッター、生活安全メールで周知

12月28日

- ・新成人、来賓等へ成人式中止の通知を発送

1月5日

- ・市ホームページで撮影スポットの提供、記念品の配付について周知

1月7日 定例記者会見

- ・成人式代替行事について情報提供

1月10日

- ・市ホームページでお祝いのメッセージ等の公開
- ・市公式YouTubeチャンネルでお祝いのメッセージ動画の配信
- ・記念写真撮影スポットの設置
- ・記念品の配付（2月28日まで）

2 代替行事

(1) 市ホームページでのお祝いのメッセージ等の公開【1月10日公開】

- ア 主催者あいさつ（市長）
- イ 来賓祝辞（議長、県議）
- ウ 祝電の披露
- エ 新成人代表あいさつ（各地区新成人）

(2) お祝いのメッセージの動画配信【1月10日公開】

市の公式YouTubeチャンネルで、市長、議長のお祝いのメッセージを動画で配信した。

（1月4日市長メッセージ収録、1月6日議長メッセージ収録）

(3) 記念品の配付【1月10日から配付開始】

記念品として、ガウライラスト入りラバーウッドフォトスタンド（L判写真用）を1月10日から2月28日まで、市民会館及び公民館の窓口で配付する。

（1月10日は、撮影スポットの長浦中学校、蔵波中学校でも配付した。）

(4) 記念写真撮影スポットの提供【1月10日開設】

1月10日午前9時から午後3時まで、各会場に記念撮影のための撮影スポットを設置した。

ア 撮影スポットの利用者数

	利用者数			対象者数			利用割合		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和地区	89	44	45	217	111	106	41.0%	39.6%	42.5%
長浦地区	51	25	26	127	75	52	40.2%	33.3%	50.0%
蔵波地区	82	44	38	169	98	71	48.5%	44.9%	53.5%
根形地区	27	23	4	54	33	21	50.0%	69.7%	19.0%
平川地区	69	33	36	98	46	52	70.4%	71.7%	69.2%
計	318	169	149	665	363	302	47.8%	46.6%	49.3%

イ 撮影スポットの運営体制

	昭和	長浦	蔵波	根形	平川	内容
職員	5人	3人	4人	4人	8人	受付、誘導、記念品配付
青少年相談員	0人	4人	4人	8人	8人	駐車場誘導、撮影場所設置・誘導
計	5人	7人	8人	12人	16人	

(5) その他の取組

当初、記念行事として新成人が計画した催し物の実現に向け、サポートを行っている。

ア ビデオレターの動画配信【準備中】

昭和地区、蔵波地区、平川地区では、記念行事で予定していた恩師のビデオレターを、市の公式YouTubeチャンネルでの配信を予定している。

イ 恩師からのメッセージ集の配付

平川地区では、動画配信のほか、メッセージ集を記念品にあわせて配付する。

ウ タイムカプセルの披露

- ・ 1月10日に平川地区の撮影スポット会場において、恩師が平岡小学校のタイムカプセルの披露を行った。
- ・ 根形小学校のタイムカプセルの披露にあわせて、根形中学校在学時に作成した「20歳の自分にあてた手紙」を配付し恩師との交流を図る。【期日未定】

3 中間まとめ

各地区で最後の実行委員会議を今後開催するため、中間まとめとして市民会館、各公民館の事業のふり返りを報告する。

(1) 昭和地区（市民会館）

令和3年成人式は新型コロナウイルス感染症対策が優先課題となり、新成人を交えた実行委員会議では式典や記念行事においてどのような対策を行うのかが協議の中心となった。

式典は中止となったが、実行委員会議で検討していた感染症対策は撮影スポット及び記念品配付の受付に活かすことができた。撮影スポットには青少年相談員昭和支部に用意いただいた撮影パネルを設置し、新成人は非常に喜んでいて、また、来場した家族からも好評であった。

また、撮影スポット及び記念品配付の周知については、成人式中止が決定されてから短期間であったため、新成人実行委員に周知の協力を依頼し、当日は89名の新成人が来場した。

今後開催される実行委員会議で、新成人実行委員に式典中止について丁寧な説明が必要である。



(2) 長浦地区（長浦公民館）

青少年相談員に提供していただいた撮影パネルを設置し、新成人同士楽しそうに写真撮影を行っていた。ただ、撮影パネルの設置場所が常時日陰となっていたため、次年度以降も設置する場合は、設置場所の検討を行う必要があると感じた。朝早くよりご協力いただいた青少年相談員をはじめ、快く会場を提供していただいた長浦中学校に感謝したい。



(3) 蔵波地区（長浦公民館）

青少年相談員に提供していただいた撮影パネルを設置し、新成人同士楽しそうに写真撮影を行っていた。

また、新成人実行委員は長浦公民館にて振袖や袴姿で後日YouTube配信をするための動画の撮影を行った。撮影した新成人代表挨拶からはコロナ禍であっても力強く生きる新成人の姿があった。朝早くよりご協力いただいた青少年相談員をはじめ、快く会場を提供していただいた蔵波中学校に感謝したい。



(4) 根形地区（根形公民館）

写真撮影スポット用の撮影パネルを青少年相談員から提供いただいたことで、新成人も同級生達と有意義な写真撮影をしていた。また、その場に同席した保護者も感慨深そうであり、撮影スポット周辺は、温かい雰囲気を醸し出していた。

新成人受付の周辺に、ホワイトボードサイズの紙を青少年相談員の方々がサブライズで用意し、その紙に新成人の“現在”の思いを記入してもらおう企画を実施し、コロナ収束後、新成人や恩師が集まる機会に披露する予定である。

青少年相談員から、女性の新成人の参加率が非常に低かったこともあり、成人式中止と併せ、写真撮影スポット提供を早期に周知できていれば、写真撮影に参加する新成人も多かったように思うとの声が挙がった。また、次年度以降もこういった形での対応となる場合は、新成人のほとんどがお昼頃から多数来場したため、撮影できる時間をもう少し短くしても良いのでは、といった声も挙がった。

全体をとおして、青少年相談員などの“地域愛”を強く実感した。また、次年度以降、式典を実施できるようになった場合でも、写真撮影スポット提供をしても良いとの声が多く挙がった。



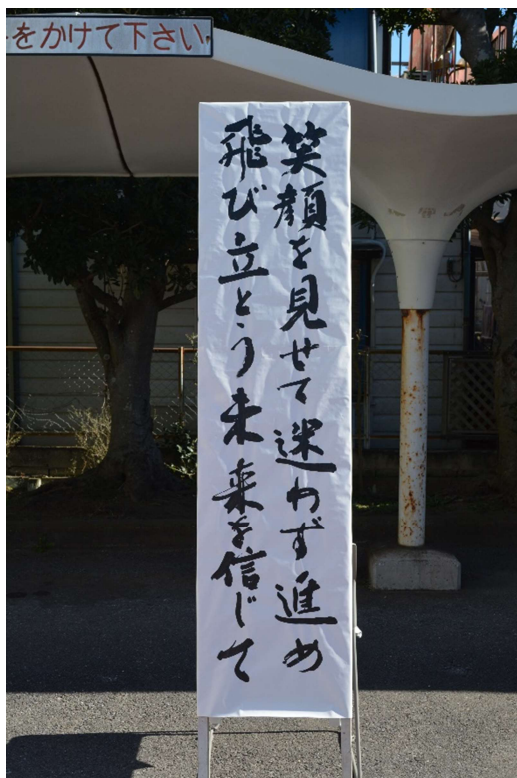
(5) 平川地区（平川公民館、平岡公民館）

式典は中止になったが、代替行事の撮影スポットを設けた。青少年相談員から提供いただいた撮影パネルを設置したことによって、新成人同士で楽しそうに写真撮影を行っていたのが印象的であった。新成人・保護者ともに参加率が高く、保護者と一緒に撮影する姿も多くみられた。

青少年相談員の提案により、新成人受付の周辺に有孔ボードを設置し当日参加した新成人の写真を掲載した。時間がずれて会えなかった友人の成長を確認しあう姿がみられた。また、タイムカプセル入っていたクラス写真なども有孔ボードに掲載した。当時の様子を見て懐かしむ姿がみられ、どちらも好評だった。

青少年相談員や恩師の先生など、多くの方の協力があったからこそできた代替行事だったと強く感じた。

次年度以降、式典を実施できるようになった場合でも、写真撮影スポット提供ができるよう、大切に保管しておくこととした。



平川公民館で活動する書道サークルより

議題（１）令和２年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

令和２年度の市民会館、公民館事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大及び感染拡大を防止するため、４月から５月の２か月間及び、１月から現在まで、のべおよそ５か月間が休館となった中、各種事業を実施した。

そのため、事業中止のほか、実施できた事業においても、感染拡大防止のためガイドラインに基づき、定員の削減、実施回数の縮小、屋外での実施など受講者の安全を最優先に考え、慎重に企画、実施した。特に、子どもを対象とする事業は、講座の開始時期を運動会の終了後にするなど、各学校の状況を見ながらの開催となった。

また、家庭教育学級のうち、小学生及び中学生の保護者を対象とする学級は、PTAとの協議を重ねたが、感染拡大が懸念されるため開催を見送りたいとの意見が多くあり、事業の実施回数は大幅に減少した。

令和３年度もコロナ禍での事業実施となるため、今年度実施事業のふり返りを確実にを行い、次年度へいかしていかなければならない。

１ 令和２年度市民会館事業の成果と課題

（１）青少年健全育成事業

「世代間交流事業」

○主な学習内容

１２月にクリスマスリースづくり及び正月お飾りづくりを予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策により人数制限を設けた際に世代間交流の効果が期待できないことや感染があった場合の責任とリスク（特に参加する高齢者の重症化リスク）があることから中止とした。

○課題

コロナ禍において、人と人との接触を極力避けた中で、前例にとらわれず実現可能な交流活動の検討が必要である。

（２）家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級（根形公民館と合同開催）」「地域家庭教育学級」

「中学校家庭教育学級」「親業訓練入門講座」

○主な学習内容

乳幼児家庭教育学級：ザリガニや虫たちと仲良くなろう！、合同講演会「“遊び”が子どもを育てる！」、親子で人形劇を楽しもう！、未来のプレゼント 思い出のアルバムづくり ほか

地域家庭教育学級：市民会館、昭和小学校PTA研修部及び奈良輪小学校PTA研修部とコロナ禍での開催について8月と10月に打合せを行ったが、PTA研修部に感染への不安があることから、市民会館単独で開催することになった。インフルエンザの流行期を避け、3月初旬の開催を検討したが、1月の新型コロナウイルス感染症の拡大状況からやむを得ず中止とした。また、5館合同講演会として、「親子のコミュニケーション～コロナの影響による家庭でのストレスや親子の不安について～」を開催した。

中学校家庭教育学級：変革期における子どもたちの学校生活

親業訓練入門講座：親業って何、親業訓練の目的、親の役割とは何かほか

○成果

乳幼児家庭教育学級は、昨年度に引き続き根形公民館と共催し、親子を対象とした体験型講座を中心に開催した。袖ヶ浦駅北側地区からの申込者が多く、また土日開催の講座については、父親の参加も安定して見られた。コロナ禍において保護者及び家族内での交流機会が減少している中で、それらの機会を求める声に応じることができ、かつ、子育てについて理解を促進する場を設けることができた。

地域家庭教育学級は、5館合同講演会として、昨年度に続き親業訓練協会シニアインストラクターを講師に迎え、コロナ禍における家庭での子どもとの接し方について、ロールプレイにより子どもの立場に立って「聴くこと」、「話すこと」を学習した。参加者からは、子どもへの言葉かけや接し方を見直していきたいとの感想が多くあった。

中学校家庭教育学級は、5館合同講演会として、千葉県教育委員会南房総教育事務所の社会教育主事を講師に迎えて「変革期における子どもたちの学校生活～保護者としてできること～」と題した講演会を開催し、「成長型社会から成熟型社会へ」や「正解のない問いに挑む力」などについて学んだ。受講者からは、「自分が以前から感じていて、子どもに伝えていたことが間違いではなかったことが確認できた」など、様々な気づきがあった感想が寄せられた。

親業訓練入門講座は、子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心に実施した。受講生からは、「話を聞くことの大切さがよくわかった。悩みすぎていた育児について、もう1度頑張ってみようと思えた。」「子供が話してくれるようになった。小さいなりに何がイヤなのか話してくれるようになって、対処できるようになった。」などの意見が聞かれ、より良い親子関係を作るための知識、技術を学んだ。また、受講生有志により、アフターコロナにおいて、親業訓練一般講座の開催が予定されるなどとても有意義な内容であった。

○課題

乳幼児家庭教育学級では、参加者同士がもっと親密になれるような内容が欲しいとい

う要望があった。家族での参加の場合、やや家族だけで固まりやすい傾向がある。保護者同士の交流や、学びの機会の提供という面から見ると、家族向けだけではなく母親や父親を対象を限定した講座の方が望ましいため、こうした講座の開催についても検討していく必要がある。

(3) 青少年教育推進事業

「子どもチャレンジ教室」

○主な学習内容

きれいに書ける！書初め教室（中止）、すんごいよくとぶ紙ヒコーキ！～作ってとばしてたのしもう！～、しいのもりでフィールドワーク！動物の隠れ家づくり（中止）

○成果

新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで、事業を縮小して開催した。紙飛行機づくりや牛乳パックを用いたブーメランづくりでは、創意工夫を伴う体験となり、子どもたちに新しい挑戦の機会を提供することができた。

○課題

感染症対策の観点から、従来のようなグループワークや調理実習等を行うことができず、子どもたちの協調性の向上を図ることができなかった。また、緊急事態宣言の発令等に伴い、感染対策を講じても中止とせざるを得なかった。動画の活用等、新たな開催方法を模索する必要がある。

(4) 地域人材育成講座

次年度開催に向けての準備期間として、地域課題や生活課題を把握しテーマを設定するため、市民会館利用者や社会教育推進員等へのアンケート及び聴き取りを行うものであった。

アンケートは未実施であるが、定期利用者からの聴き取りでは、体操やウォーキング等の健康に関すること、振り込め詐欺やニュースで話題となったスマホ口座からの引き落とし詐欺など消費者生活に関すること、インターネット等で横文字が日常化し分からない用語が増えたため、暮らしの中の横文字について学びたい等の意見があった。

○課題

テーマ設定にあたっては、事業目的である学習をとおして地域や生活を見つめなおし、自身の活動につなげることを念頭に設定していかなければならない。

(5) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「さわやかセミナー」「単発講座」「舞台コーディネーター養成講座」

○主な学習内容

女性セミナー：感染症疾患と予防対策、郷土博物館ミュージアムツアー、男女共同参画
ことはじめ、みんなでつくろう！マイ・タイムラインほか

さわやかセミナー：年間テーマ「袖ヶ浦公園の楽しみ方」

博物館を深掘り！ミュージアムツアー、知るほどすごい！上総掘り、公園を歩こう！
上池のひみつ

単発講座：着物着付け入門講座として、着物の着方、帯（半幅帯、名古屋帯）の結び方
などの基本を学んだ。

舞台コーディネーター養成講座：舞台、照明、音響操作講習をそれぞれ2月に開催を予
定したが、緊急事態宣言の延長により中止とした。

○成果

女性セミナーでは、今年度は「暮らしと環境を考えよう」をメインテーマに講座を開
催した。第1回の講座で「感染症疾患と予防対策」として君津中央病院の認定看護師か
ら新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策について学び、その後の安全な講座運営
につなげた。そのほか、「環境」「郷土」「男女共同参画」「防災」などについて学んだ。

さわやかセミナーでは、今年度は「袖ヶ浦公園の楽しみ方」をテーマに3回開催した。
袖ヶ浦市を見直し、そしてより深く知ることによって愛着を深めることを目的とし、そのた
めに身近な憩いの場である袖ヶ浦公園を舞台とした。少人数ではあったが、公園に立地す
る博物館を起点に市の歴史や伝統技能、公園の魅力について、受講者一人ひとりが興味
をもって深く学ぶことができた。また、受講者には、協力いただいた上総掘り技術伝承
研究会へ入会するなど、講座から次の学びへつなぐことができた。

単発講座は、茶道サークルの会員のサポートにより、受講者一人ひとりへきめ細かな
指導ができた。また、茶道サークル会員と受講者によるサークル化への動きもある。

○課題

女性セミナーでは、身近な生活課題や社会課題の中から、年間のメインテーマについ
て受講生の意見を参考に社会教育推進員とともに設定することとしているが、男女共同
参画計画など諸計画により実施することとされている事業があるなどの制約がある。

さわやかセミナーでは、今回袖ヶ浦市の新規居住者も対象としていたが、この世代の
参加者がなかった。より若い世代の参加と交流が促せるようリサーチを行い、講座内容
について検討していく必要がある。

舞台コーディネーター養成講座においては、開催時期を2月予定としたがコロナ禍で
は冬場での実施ではなく、6月以降の実施のように開催時期の設定を工夫していく必要
がある。

(6) 高齢者いきがい促進事業

「昭和ふれあい教室」

○主な学習内容

コロナウイルスに負けない！！～今日からできる心と体づくり～、グラウンド・ゴルフ入門、防災講演会「平日に頼りになるのは皆さんです！」、映画会など

○成果

健康で充実した生活を送ることができるよう、学習や交流活動を通して一人ひとりのいきがいを促進する場の提供を行い、各回、40～50名ほどの高齢者が楽しく参加することができた。

第1回の学級を「コロナウイルスに負けない！！～今日からできる心と体づくり～」として高齢者支援課の総括保健師からコロナ禍における心と体づくりについて学び、その後の安全な学級運営につなげた。また、防災講演会では「平日に頼りになるのは皆さんです！」と題し、段ボールベッドや間仕切りなどの組み立てを実際に行い、避難所開設時の協力をお願いした。

毎回の学級の終わりに「笑いの三笑」※を行い、笑顔で帰宅できるように声かけをしている。

※「笑いの三笑」：万歳三唱の要領で「わっはっは。わっはっは。わっはっは。」と3回笑う。血中のNK細胞が増殖されて自然治癒力などが高まることが期待される。(参照：月刊公民館2019.5)

○課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場を大ホールと屋外に限定して実施した。また、接触の機会を極力減らしたことから、新たな仲間づくりには結びつきにくかった。今後も、学級生の代表である運営委員や社会教育推進員との協働により、実施内容の工夫に努める。

(7) 各種行事推進事業

「市民音楽フェスティバル」「芸能文化まつり」

○主な内容

第38回市民音楽フェスティバル：中止

(経緯) 主催である市民会館と袖ヶ浦市音楽協会で開催の可否についての打合せを行い、新型コロナウイルス感染症が拡大している中での実施は難しいと判断し中止とした。

芸能文化まつり：中止

(経緯) 共催する袖ヶ浦市文化協会より、新型コロナウイルス感染症による出演団体の活動機会が減少し、収束のめどが立たないため出演しない旨の連絡があった。それを踏まえて市民会館登録サークルへ単独での開催について打診したが、当日の運営人員

の不足や感染症対策への不安から開催は難しく、中止とすることとした。

○課題

市民音楽フェスティバルは、前年度の課題に加え、コロナ禍での実施について開催方法を検討する必要がある。

芸能文化まつりは、市内文化団体の活動成果の発表の場であるため、その機会を絶やさぬようコロナ禍でも安全に開催できる方法について検討する必要がある。

令和2年度市民会館事業実施状況報告

令和3年1月31日現在

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標1① (ア)地域で子どもを守る体制づくり	青少年健全育成事業	地区住民会議(坂戸の森みどりの会)活動	昭和地区各種団体	通年		22団体	22団体	
2			青少年相談員支部活動	昭和地区青少年相談員	通年		14人	14人	
3			子ども会育成会支部活動	単位子ども会	通年		7団体	8団体	
4			世代間交流事業	昭和地区の高齢者と親子		中止		1回	61人
5			通学合宿	昭和地区の小学5・6年生		中止		中止	
6	目標1② (ア)家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(根形公民館と合同)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者	8月8日～12月22日	7回	148人	9回	107人
7			地域家庭教育学級	昭和地区の小学生の保護者	10月7日	1回	3人	4回	89人
8			中学校家庭教育学級	昭和中学校生徒の保護者	11月25日	1回	5人	5回	91人
9			親業訓練入門講座	高校生までの子を持つ保護者	11月7日, 28日	2回	26人	2回	24人
10	目標1③ (ア)公民館における青少年事業の充実	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	昭和地区の小学4年～6年生	1月16日	1回	5人	8回	109人
11	成人式 (記念写真撮影スポットの提供)			H12.4.2～H13.4.1に生まれた昭和地区の新成人	1月10日		89人		159人
12	目標2① (イ)社会関係団体への支援	利用者懇談会		定期利用団体	3月	2回		中止	

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度			
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数		
13	目標2② (ア)市民への学習機会 の提供と地域と連携した 公民館活動の充実	社会教育推進員活動		社会教育推進員	通年		9人	10人		
14		地域人材育成講座		市民	今年度は準備期間とし、次年度より開設		—	—		
15		成人教育 推進事業	女性セミナー		昭和地区成人女性	9月4日～2月17日	6回	87人	7回 154人	
16			さわやかセミナー		市内在住・在勤の男性	11月15日～1月17日	3回	12人	2回 17人	
17			単発講座		市内在住・在勤の成人	7月6日～12月14日	3回	19人	中止	
18			舞台コーディネーター養成講座		大ホール利用者及び一般市民	2月14日～28日	3回		1回 2人	
19		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室(高齢者教室)		昭和地区の60歳以上の方	9月30日～2月25日	5回	180人	7回 424人	
20		目標2③ (ア)文化・芸術振興のための市民活動の支援	各種行事 推進事業	市民会館まつり代替行事「市民会館サークル等作品展」		市民	10月31日 11月1日	2日間	109人	2日間 7,486人
21				ロビー展示		各種団体 市内小中学校	通年		6団体	8団体
22	第39回市民音楽フェスティバル(音楽協会との共催)			市民	11月23日	中止		1,201人		
23	第33回芸能文化まつり(文化協会との共催)			市民	1月24日	中止		400人		
24	目標3① 公民館運営審議会の意見の反映	公民館運営審議会		委員	6月～2月	5回	12人	4回 12人		

2 令和2年度平川公民館事業の成果と課題

(1) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級（平岡公民館と合同開催）」「地域家庭教育学級」
「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：ヨガ、読み聞かせ、バルーンアート、人形劇など

地域家庭教育学級：親子のコミュニケーション、食育の話

中学校家庭教育学級：変革期における子どもたちの学校生活

○成果

幼児家庭教育学級は、親子ともに楽しめるようなヨガや、バルーンアート、人形劇を実施し、親子で参加し楽しんでいる姿がみられた。

地域家庭教育学級では、中川小PTAと協議し、合同講演会を含め2回開催した。学校給食センター施設見学を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により見学できなくなったため、食育に関する講義に内容を変更した。

中学校家庭教育学級は、平川中学校PTAと協議した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、合同講演会のみ開催した。

○課題

幼児家庭教育学級では、参加人数が少なかったため、内容の検討が必要。

地域家庭教育学級・中学校家庭教育学級では、コロナ禍ということもあり、参加者が少なかった。次年度はさらにPTA役員と連携を密にし、事業展開していきたい。

(2) 青少年教育推進事業

「子どもクラブ」

○主な学習内容

焼いも体験、わりばしてっぼうづくり

○成果

新型コロナウイルス感染症拡大により、1回しか開催できなかったが、多くの児童・保護者に参加していただいた。普段は体験できない「焼いも体験」は、児童・保護者からとても好評であった。また、友達同士の参加が多く、わりばしてっぼうを使用したゲームに和気あいあいと楽しむ姿がみられた。

○課題

新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底したうえで、コロナ禍の中でも参加したいと思えるような企画・運営が必要である。

「書き初め教室」

○主な学習内容

登録サークル等を講師とした書き初め教室（旧：公民館地域連携推進事業）

○成果

平川公民館登録サークルに講師を依頼し、冬休み中に小学3～6年生を対象にして1回開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止した。

○課題

冬休み中の書き初め教室のニーズは高い上に、登録サークルの活躍の場にもなるので、来年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底したうえで開催したい。

（3）成人教育推進事業

「女性セミナー」「園芸講座」「地域課題解決講座」「単発講座」

○主な学習内容

健康に関する講座、季節の野菜栽培、防災に関する講座など

○成果

女性セミナーでは、年間学習テーマを「健康づくりと仲間づくりをしよう！」として、健康に関する学習機会を提供した。

園芸講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため第1・2回を中止した。第3回以降は室内での密を防ぐため、屋外で講義・実践を行った。季節ごとの野菜づくりや落葉果樹の剪定方法について学習した。

地域課題解決講座は、東日本大震災10周年を間近に控えた3月6日に防災講座を開催する予定だったが、緊急事態宣言が解除されない場合は中止する。

単発講座では、防災をテーマに、災害弱者が困らないための防災講座を開催し、日頃からできる災害に対する備えやローリングストックに関する講義を行った。ポリ袋を用いて簡単に調理できる防災クッキングの実演も行い、参加者の方々にはとても好評だった。

○課題

女性セミナーでは、配偶者・家族以外の方と会話できる機会を求めている方が多いが、コロナ禍では難しいと感じている。

園芸講座では、「園芸」の内容が幅広く、参加者によって学びたい内容（野菜・花・果樹等）が異なるため内容の選定が難しい。

地域課題解決講座では、令和元年の台風災害の教訓を地域に還元していくなど、開催内容・開催方法等を検討する必要がある。

単発講座では、幅広い内容を取り揃え、幅広い世代の方々に参加していただけるような講座を企画する必要がある。

(4) 高齢者いきがい促進事業

「うぐいす学級」

○主な学習内容

落語講演、レクリエーション

○成果

落語講演では、楽しい落語の講演を聞くことができ、参加者の生きがいにつながったと思う。また、レクリエーションでは、頭を使うレクと体を使うレクのどちらも実施し、参加者間でコミュニケーションをとりながら楽しむ姿がみられた。

○課題

自宅から公民館への移動手段がないことから参加が難しいとの声がある。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催回数が減ってしまい、残念だとの参加者の声があった。コロナ禍における開催方法の検討が必要である。

「高齢者講座」(旧：公民館地域連携推進事業「お出かけ高齢者講座」)

○主な学習内容

落語講演、腹話術など

○成果

地区社会福祉協議会の市民サロンと共催してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民サロンが中止となったので、本講座も中止した。

○課題

今後も、平川公民館まで移動できない高齢者を対象にした講座展開が必要である。

(5) 各種行事推進事業

「ロビー展示」

○主な内容

各種団体の作品展示、平川地区の歴史に関する展示、リュウゼツランに関する展示

○成果

文化協会所属団体の作品を展示して、発表の機会を提供した。また、ミニ企画展「太平洋戦争中の平川地区 学童集団疎開」やリュウゼツランの成長記録、新成人の写真などの展示を行った。多くの来館者が足をとめ、展示に感心を持っていた。

○課題

新型コロナウイルス感染症感染拡大により、休館になりロビー展示ができなかったり、サークル活動ができず作品の作成が進んでいないという団体があった。コロナ禍におけるロビー展示方法において検討が必要である。

令和2年度平川公民館事業実施状況報告

令和3年1月31日現在

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標1① (ア)地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健全 育成事業	地区住民会議(中 富ふれあいの会)活 動	中富地区各 種団体	通年		15団体	通年	15団体
2			青少年相談員支部 活動	中富地区青 少年相談員	通年		9人	通年	9人
3			子ども会育成会支 部活動	単子子ども 会	通年		3団体	通年	4団体
4	目標1② (ア)家庭 の教育力 向上のた めの支援	家庭教育推 進事業	幼児家庭教育学級 (すまいる学級)(平 岡公民館と合同)	2歳から就 学前の幼児 を持つ保護 者	8月～12月	5回	16人	7回	33人
5			中富地域家庭教育 学級	中川小学校 児童の保護 者	10月～12月	2回	17人	4回	57人
6			平川中学校家庭教 育学級	平川中学校 生徒の保護 者	11月	1回	2人	4回	46人
7	目標1③ (ア)公民 館におけ る青少年 事業の充 実	青少年教 育推進事 業	子どもクラブ	中川小・平 岡小4～6年 生	11月	1回	23人	6回	138人
8			書き初め教室	中富地区の 小学3～6年 生		中止		1回	20人
9	成人式 (記念写真撮影スポットの提供)			H12.4.2 ～ H13.4.1 に 生まれた中 富・平岡地 区の新成人	1月10日	1回	69人	1回	92人
10	目標2① (イ)社会 教育関係 団体の活 動への支 援	利用者懇談会		登録サーク ル・定期利 用団体	調整中	1回	30団体	中止	27団体
11	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	社会教育推進員活動		社会教育推 進員	通年	1回	10人	通年	10人
12		成人教育 推進事業	女性セミナー	中富地区の 成人女性	7月～11月	4回	45人	7回	105人

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
13	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	園芸講座	市内在住・ 在勤成人	7月～2月	5回	47人	4回	40人
14			地域課題解決講座	市民	調整中	1回		2回	187人
15			単発講座(防災講 座)	市民	12月	1回	8人	—	—
16	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	高齢者い きがい促 進事業	うぐいす学級(高齢 者教室)	中富地区の 60歳以上の 方	7月～2月	2回	31人	5回	104人
17			高齢者講座	中富地区の 60歳以上の 方		中止		2回	22人
18	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	各種行事 推進事業	平川公民館まつり 代替行事「平川公 民館サークル展示 会」	市民	11月7日 11月8日	2日間	239点 107人	2日間	719点 6,260人
19			ロビー展示	各種団体	通年	6回	76点	14回	231点

3 令和2年度長浦公民館事業の成果と課題

(1) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級」「地域家庭教育学級」「中学校家庭教育学級」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：レクリエーション、おはなし会他

地域家庭教育学級：栄養講話

中学校家庭教育学級：スマホ依存症講話

○成果

幼児家庭教育学級は、講座の中で参加者同士が会話する機会を増やすため子どもと一緒に楽しめる講座を行った。全体としてコロナ禍で参加者が少なかった。

地域・中学校家庭教育学級は、コロナ禍で学校行事が中止・縮小されるなか、学級生の学習意欲の低下が感じられ、実施回数や参加者が少なかった。

○課題

各家庭教育学級の共通の課題として仲間づくりの面では一定の成果を上げていると考えられるが、コロナ禍のため参加者が少なかったり講座自体が開催できなかったりした。

幼児家庭教育学級においては、5館合同のチラシやポスターを作成して幼稚園や歯科医院などでの配布や掲示、市の広報紙やホームページに記事を掲載するなど周知活動に努めている。講座の内容については、コロナ禍のため調理実習が行えない、移動教室の開催が難しかった、ということがあった。

地域家庭教育学級では、蔵波小学校PTAと共催で講座を行ったが、長浦小学校PTA側より新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の観点から中止の要望があったため、長浦小学校PTA分の今年度実績はなかった。

中学校家庭教育学級では仕事を持ち多忙な母親が多く、このコロナ禍の中、参加者を増やしていくことが難しかった。

(2) 青少年教育推進事業

「わんぱく教室」「長浦ジュニアお琴・尺八教室」

○主な学習内容

わんぱく教室：工作教室、フラワーアレンジメント

長浦ジュニアお琴教室：お琴の練習

○成果

わんぱく教室では、子どもたちに工作教室（ペットボトルロケットづくり）をはじめとした体験活動を提供し、参加児童相互の交流を図ることができた。フラワーアレンジ

メントの際には、完成した作品を参加者同士で鑑賞して感想を述べ合うことなども行った。

長浦ジュニアお琴教室では、月1回をペースに練習した。今年度は、コロナ禍のために発表の機会は設けられなかったが、講座生は各自お琴を自宅に持ち帰り、練習することができた。

○課題

わんぱく教室では、募集方法について工夫を行っているものの、対象児童数に対して申し込み数はあまり芳しくない。引き続き、魅力ある事業展開や募集方法を工夫し、参加者の増加を図る必要がある。

長浦ジュニアお琴・尺八教室では、初心者と経験者のコースを分けて実施している。公民館主催講座として、邦楽に触れる機会として開催し、経験者をサークルに移行していく必要がある。

(3) 成人教育推進事業

「女性セミナー」「男性セミナー」「ながうら遊学塾」「お正月飾りづくり講習会」

○主な学習内容

女性セミナー：新型コロナウイルス感染症に関する講座、介護予防講座、里山歩き、移動教室

男性セミナー：調理実習、移動教室

ながうら遊学塾：新型コロナウイルス感染症に関する講座、里山歩き、歴史講話、移動教室

お正月飾りづくり講習会：正月飾りづくり

○成果

女性セミナーでは、新型コロナウイルス感染症に関する講座で新しい生活様式について学んだり、介護予防講座で体を動かす大切さについて学んだ。

男性セミナーでは仲間づくりが目的であるため、調理実習などを通じて参加者同士の交流を図った。室内での密を避けるために屋外で行った調理教室は大変好評であった。

ながうら遊学塾では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い新しい生活様式についての講座の実施や、ハーモニー体操など「楽しみながら学ぶ」をテーマに各講座に取り組んだ。

○課題

成人教育推進事業に限定されないが、各事業の整理が求められている。

(4) 高齢者いきがい促進事業

「長浦さわやかスクール」

○主な学習内容

健康講話、レクリエーション、映画鑑賞会、グラウンドゴルフ 他

○成果

市担当職員による「新しい生活様式」に関する健康講話や、袖ヶ浦レクリエーション協会による3密や接触を避けた軽運動の機会を提供した。また、グラウンドゴルフ大会等では講座の参加者からいきいきとした笑顔が見られ、心豊かで生きがいのある高齢期を過ごすという講座の目的を達成できた。引き続き、生きがい促進のため事業を展開したい。

○課題

不参加が多かった講座については原因などを精査し、参加しやすい環境づくりを行う必要がある。また、対象が高齢者ということもあり、感染症対策についてはより一層注意を払い柔軟な対応をすることも重要である。

令和2年度長浦公民館事業実施状況報告

令和3年1月31日現在

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度	
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
1	目標1① (ア)地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健 全育成事 業	長浦地区住民会議 (ながうら青空の会) 活動	長浦地区各 種団体	通年		19団体	19団体
2			青少年相談員支部 活動	長浦支部青 少年相談員	通年		22人	22団体
3			子ども会育成会支 部活動	単位子ども 会	通年		4団体	4団体
4			通学合宿	長浦・蔵波 地区の小学 4～6年生	中止			
5	目標1② (ア)家庭 の教育力 向上のた めの支援	家庭教育 総合推進 事業	幼児家庭教育学級	2歳から小 学校就学前 の幼児を持 つ保護者	9月～12月	5回	23人	5回 25人
6			地域家庭教育学級	長浦・蔵波 地区の小学 生を持つ保 護者	9～10月	2回	18人	7回 148人
7			中学校家庭教育学 級(長浦)	長浦地区の 中学生を持 つ保護者	9月～2月	2回	7人	5回 85人
			中学校家庭教育学 級(蔵波)	蔵波地区の 中学生を持 つ保護者	9月～2月	1回	0人	5回 62人
8	目標1③ (ア)公民 館におけ る青少年 事業の充 実	青少年教 育推進事 業	わんぱく教室	長浦小・蔵 波小の4～6 年生	12月	2回	11人	8回 102人
9			長浦ジュニアお琴・ 尺八教室	長浦小・蔵 波小・昭和 小・奈良輪 小の4～6年 生	10～2月	3回	24人	14回 212人
10	成人式(長浦地区) (記念写真撮影スポットの提供)		H13.4.2～ H14.4.1に 生まれた長 浦地区の新 成人		1月10日		51人	71人
	成人式(蔵波地区) (記念写真撮影スポットの提供)		H13.4.2～ H14.4.1に 生まれた蔵 波地区の新 成人		1月10日		82人	118人

No.	事業名	対象	令和2年度			令和元年度			
			実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数		
11	目標2① (イ)社会 教育関係 団体の活 動への支 援	利用者懇談会	各種団体、 サークル	3月	1回		中止	-	
12		社会教育推進員活動	社会教育推 進員	通年		10人		10人	
13		成人教育 推進事業	女性セミナー	長浦地区の 成人女性	6月～1月	7回	90人	8回	205人
14	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実		男の料理教室 (男性セミナー)	市内在住・ 在勤成人男 性	7月～12月	2回	13人	6回	33人
15		成人教育 推進事業	ながうら遊学塾	成人(長浦 地区優先)	6月～2月	5回	75人	6回	188人
16			お正月飾りづくり講 習会	市内在住・ 在勤成人	12月	1回	21人	1回	11人
17		高齢者い きがい促 進事業	長浦さわやかスクー ル(高齢者教室)	長浦地区の 60歳以上の 方	7月～1月	5回	137人	10回	485人
18	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	各種行事 推進事業	長浦公民館まつり 代替行事「長浦公 民館サークル等作 品展示会」	市民	11月7日 11月8日	2日間	195点 232人	2日間	-
19			ロビー展示	各種団体、 サークル、 市内小中 学校	通年		4団体 50点		16団体 284点

4 令和2年度根形公民館事業の成果と課題

(1) 家庭教育総合推進事業

「乳幼児家庭教育学級（市民会館と合同開催）」「地域家庭教育学級」

「中学校家庭教育学級」「ワーキングママ支援講座」

○主な学習内容

乳幼児家教：プロの演奏家によるコンサート鑑賞・絵本の読み聞かせ講座・講演会「“遊び”が子どもを育てる」・ザリガニ釣り体験・おもちゃ作り・人形劇・アルバム作り

地域家庭教育学級：講演（新型コロナ対策と新しい生活様式等について）

中学校家庭教育学級：講演（新型コロナ対策と新しい生活様式等について）

ワーキングママ支援講座：市の保育の状況について・エニアグラムによる性格や個性・社会保障や扶養のしくみ、生涯のお金を含めたライフプラン・親子のコミュニケーション、モチベーションアップの方法（全4回）

○成果

乳幼児家庭教育学級は、0歳児から就学前の子を持つ保護者を対象として、市民会館との合同開催により実施した。感染症予防のため、移動教室や調理実習は実施せず、母親だけでなく子どもや父親と一緒に学べる学習内容を主として、多くの親子が参加した。特に、土日（4回）に開催したことで、父親の参加がのべ22名であった。コロナ禍で外出等が制約される中で、親子で楽しむ時間を共有し、絆を深めるとともに家庭教育への意識の向上につなげることができた。

地域家庭教育学級は、中学校PTAとの連携を意識し、今年度も合同講演会以外は、中学校家庭教育学級と合同で実施した。新型コロナウイルス感染症感染対策を考慮した企画・運営を実施し、参加して良かったとの声が挙がった。

中学校家庭教育学級は、小学校PTAとの連携を意識し、今年度も合同講演会以外は、地域家庭教育学級と合同で実施した。新型コロナウイルス感染症感染対策を考慮した企画・運営を実施し、参加して良かったとの声が挙がった。

ワーキングママ支援講座は、昨年度の課題を検討し、本年度は土曜日に開催することとし、現在働いている母親への参加を促した。プロの講師陣による子育てのヒントは好評を得て、働きながらも子どもの心に寄り添い、自分らしく生き生きと子育てができるよう後押しをした。

○課題

乳幼児家庭教育学級は、今後も感染症の予防対策を引き続き行っていく状況であれば、20組の家族全員が参加すると多数になってしまうため、人数や開催方法等を考えていく必要がある。また、2歳未満は保育の対象とならないため、2歳未満児が保護者と一緒に活動できる内容の工夫や、子どもの安全性の確保について検討する必要がある。

地域家庭教育学級は、参加者が少なく、特に中学校家庭教育学級と合同で実施した第2回（最終回）は、参加者が0人という結果であった。参加者を再募集したとはいえ、参加者募集方法を再考する必要がある。特に、例年、PTAと協力をして企画・運営しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、今年度は、密な連絡・連携が図れなかった。

中学校家庭教育学級は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、今年度は、中学校PTAと委託契約をせず、公民館が企画・運営をした。コロナ禍とはいえ、学級運営を円滑に行うために、よりPTAとの交流が必要と感じた。（PTA研修委員長が介護関係の職場のため、講座への参加がストップされていたのも影響が大きかった。）

ワーキングママ支援講座は、今後の学習内容について、今年度実施したアンケートの結果を参考のうえ、母親が求めているもの、働く母親にとって必要とされるものは何か考察していく。

（2）青少年教育推進事業

「花まる絵画教室」「子ども絵画教室」「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」

○主な学習内容

花まる絵画教室：水彩画制作

子ども絵画教室：水彩画制作

ねがたオープンキャンパス（ねこまる）：勉強や体験活動（ポッチャ等）

○成果

花まる絵画教室は、定員16名に対し、22名の申込みがあるなど、人気を博している。昨年度は申込者20名全員を教室生としたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、密集・密接をさけるため抽選を行い、定員である16名を教室生とした。なお感染症対策として、飛沫防止のため作業台の中央に、ビニールシートを設置した。

子ども絵画教室は、定員16名に対し、8名の申込みがあった。定員割れこそしているが、その分講師が一人ひとりを見る時間が確保できているとともに、参加している子どもたちも、とても集中して作品づくりに取り組んでいる。

ねがたオープンキャンパス（ねこまる）は、地元の小学校児童を対象に、地域の若者たち「N.O.C」が夏休みを用い、勉強や体験活動の場を提供している。今年度は、昨年度の反省を活かし、N.O.Cメンバー内で役割分担を詳細、かつ、平等に行った。その結果、負担を均等にでき、多くのN.O.Cメンバーが参加した。また、N.O.Cや公民館、協力者である袖ヶ浦市レクリエーション協会、社会教育実習生などと積極的に情報交換を行い、さらに新型コロナウイルス感染症対策を行ったことで、2日間開催することができた。参加者、特に6年生は、N.O.Cに会いたいから参加したといった声や、自分もN.O.Cに入りたいといった声が挙がるなど、地域の交流の場、かつ、人材育成の場となっている。

○課題

花まる絵画教室についてはここ数年、抽選で参加者を決定している。昨年度は講師と相談のうえ、申込者20名を教室生として全員受け入れたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策ということもあり、抽選を行い定員内の教室生としている。今後、講師及び社会教育推進員に相談したうえで、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、募集人数や、花まる絵画教室の開催方法を次年度に向けて検討することとしたい。

子ども絵画教室については、定員割れしてしまった。要因としては、例年、前年度の子ども絵画教室生及び花まる絵画教室の卒業生に連絡を取り、教室生を確保していたが、今年度は、コロナ禍ということもあり、積極的に声かけを行わなかった。また、当初は、8人で教室をスタートしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、教室生1人から参加を辞退したいとの申し出があった。コロナ禍でも安心して参加できる環境づくりをより検討しなければならない。

ねがたオープンキャンパス（ねこまる）について、勉強が終わってやる事が無いといった子どもたちもいたので、タイムスケジュール等の工夫をする必要がある。（参考：1日目の反省を活かし、勉強が終わった子どもたち向けに、クイズ等を準備した。）

新型コロナウイルス感染症により、毎年ねこまろに協力してくれていた袖ヶ浦高校が参加できず、また、宿泊版が中止になるなどの影響を多く受けた。コロナ禍でもねこまろに関わる関係者同士のつながりづくり、N.O.Cが参加しやすい環境づくりを公民館が推進していく必要がある。

（3）地域人材育成講座

「根形地区地域防災講演会」

○主な学習内容

「自分たちでつくる本当に安心できる避難所」をテーマに、避難者の様々なニーズに配慮した避難所運営を地域住民自らが考えるきっかけづくりを目指し、阪神・淡路大震災時に、現地で避難者支援などに従事された講師の経験から、机上のマニュアルに書かれていないリアルな避難所の現状を伝えていただいた。

○成果

今年度から始まった講座であり、1年目は、試行的に根形公民館で実施することとし、避難所運営を考えるとといったテーマで講演会を行った。自治会の役員や公民館職員などが参加し、今後の防災対策を考える一助となった。また、参加者にアンケートを実施した結果、今回の講演を自身の活動につなげたい、つなげることができるといった声が多数挙がった。今回の試行講座を踏まえ、自治会と防災について考える機会をつくるほか、中学生を対象にした講演会及び体験会を行うよう、中学校及び今年度の講演会の講師と調整をしている。

○課題

新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、定員減とし実施した。

女性に多く参加して欲しかったが、全体の3割弱であった。

今回、根形公民館で試行講座を行ったが、地域によって課題が様々なので、地域住民の声を聴きながら、公民館が地域課題を吸い上げる必要がある。そして、吸い上げた意見を踏まえた講座を公民館職員が企画・運営し、地域課題を自らで解決していくような人材育成を支援していく必要がある。

(4) 成人教育推進事業

「成人絵画教室」「地域再発見講座」

○主な学習内容

成人絵画教室：静物写生（野菜・果物・花瓶・花等）・自画像・クロッキー・風景写生（袖ケ浦公園）・石膏デッサン・移動教室（ホキ美術館）

地域再発見講座：講義（山野貝塚、地質、神社、袖ケ浦公園上池周辺の歴史情報）、移動教室（チバニアン時代の地層視察）、施設見学（袖ケ浦市郷土博物館） 他

○成果

成人絵画教室は、油絵や水彩画の基本的な知識や技法を講師から学び、絵画の技術を磨くことはもちろん、教室生相互で作品の感想を述べ合うなど相互の交流も図られている。学習の成果として根形公民館サークル等展示会への出展や、美術館の鑑賞などを行い、教室生の作品創作意欲の向上や、やりがいにもつながった。

地域再発見講座は、根形地区を主とする地域の再発見を目的とし、「まちの成り立ちを見直そう」をテーマに、袖ケ浦市に関する歴史や地理の講義、視察見学等とおして学習した。講座生20名は継続者が多く、意欲的に学習する姿が見られた。

○課題

成人絵画教室は、現在根形公民館で活動する絵画サークルは5団体で、「成人絵画教室」の卒業生がサークルに入ること、または、自主的な活動が引き続き行えるようにバックアップをしていくことが必要である。

地域再発見講座は、継続的な講座生が多いので、今年度行ったアンケートの結果を参考に、これまで学習してきた内容を講座生自身が成果として地域に還元できることを検討していきたい。

(5) 高齢者いきがい促進事業

「根形ニコニコ教室」

○主な学習内容

軽スポーツ（3B体操）、消費者教室（消費生活トラブルに関する講話）、健康講座（関

節痛に対するコンディショニング、冬の健康管理)、移動教室(千葉市立博物館等)、映画鑑賞会、お楽しみ演芸会

○成果

運動機能低下の防止対策として、軽スポーツを昨年同様取り入れたが、70歳代後半の高齢者の参加率も高いため、負荷が大きく感じられた方もいたので、今後実施の際は、内容を検討する必要があると感じる。健康講座は、毎年、根形地区を担当する保健師を講師として実施しているため、参加者一人ひとりの状況を把握している。また新たな試みとして、アスレチックトレーナーを講師とした関節痛の痛みを和らげるストレッチ運動は、普段の生活の中でも取り組みのしやすい内容であり、参加者に大変好評であった。

○課題

新たな参加者が、わずかずつではあるが増えている一方で、高齢化により従来からの参加者について、参加する機会が減少している傾向もみられる。地域の高齢者が1ヶ月に一度は公民館に集まり、コミュニケーションの場としてもらうとともに、学習の機会としてもらうため、1人でも多くの教室生に来てもらうための質の高い講座内容の検討と、様々な機会をとらえて、地域の高齢者に教室への参加の声掛けの必要がある。

(6) 各種行事推進事業

「サークル作品展」

○主な内容

根形公民館を拠点として活動する絵画・陶芸のサークルならびに根形公民館の主催する絵画教室・陶芸教室の学習成果を発表する作品展。

○成果

サークル活動と根形公民館主催事業の1年間の成果発表として3月に実施する。サークル代表者による実行委員会が主催となり、会場設営・展示作業・当日の受付等をサークルの会員が担当する。本年度は、コロナ禍もあり、参加サークルは全体の半分の10団体となったが、根形公民館主催事業の花まる教室と子ども絵画教室も加わり、同教室生からの作品も展示する。感染症対策を徹底して、3月13日(土)～3月21日(日)に開催する。

○課題

現在事務局として公民館が負担している広報活動について、さらに広く周知するために、実行委員に積極的に活動してもらう必要性を感じる。

令和2年度根形公民館事業実施状況報告

令和3年1月31日現在

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度	
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数
1	目標1① (ア)地域 で子どもを 守る体制 づくり	青少年健全 育成事業	地区住民会議 (根っ子の会)活動	根形地区の 各種団体等	通年		20団体等	20団体等
2			青少年相談員支部 活動	青少年相談員 根形支部	通年		8人	8人
3			子ども会育成会支 部活動	単位子ども 会	通年		6団体	6団体
4	目標1② (ア)家庭 の教育力 向上のた めの支援	家庭教育 総合推進 事業	乳幼児家庭教育学級 (うたたねハッ ピーくらぶ)(市民会 館と合同)	0歳から就 学前の幼児 を持つ保護 者	8月～12月	7回	79人	9回 107人
5			地域家庭教育学級	根形地区の 小学生の保 護者	10月～12月	2回	3人	5回 47人
6			中学校家庭教育学 級	根形中学校 生徒の保護 者	11月～12月	2回	5人	5回 58人
7			ワーキングママ支援 講座	3歳～5歳 の子を持つ母 親・これから 働くことを考 えている母親	8月～9月	4回	39人	4回 48人
8	目標1③ (ア)公民 館におけ る青年充 実の事業	青少年教 育推進事 業	花まる絵画教室	市内小学1 年～3年生	6月～12月	6回	92人	6回 104人
9			子ども絵画教室	市内小学4 年～6年生	6月～3月	8回	47人	9回 142人
10			ねがたオープンキャ ンパス (ねこまる)	N.O.C(根形 地区の青少 年)及び袖 ヶ浦市レク レーション 協会等 根形小児童	8月12日 8月17日	2日間	92人	4回 492人
11	成人式 (記念写真撮影スポットの提供)		H12.4.2～ H13.4.1に 生まれた根 形地区の新 成人	1月10日		27	1月12日 51人	

No.	事業名	対象	令和2年度			令和元年度			
			実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数		
12	目標2① (イ)社会 教育関係 団体の活 動への支 援	利用者懇談会	定期利用団 体	3月	1回		中止		
13		社会教育推進員活動	社会教育推 進員	通年		10人		10人	
14	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	地域人材育成講座	根形地区住 民	10月17日	1回	38人	—	—	
15		成人教育 推進事業	成人絵画教室	市内在住・ 在勤成人	6月～2月	9回	73人	10回	101人
16			地域再発見講座	市内在住・ 在勤成人	7月～1月	7回	102人	9回	142人
17		高齢者い きがい促 進事業	根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	根形地区の 60歳以上の 男女	6月～2月	9回	239人	10回	345人
18		各種行事 推進事業	根形公民館まつり 代替行事「根形公 民館サークル等展 示会」	市民	10月30日～ 11月1日	3日間	484人	2日間	8,063人
19	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援		ねがたファミリーコン サート	乳幼児家庭 教育学級 生・根形ニ コニコ教室 生等	8月3日	1回	85人	1回	106人
20			ロビー展示	各種団体他	通年		11団体		14団体
21			根形公民館サーク ル作品展	根形公民館 で活動する 美術・工芸 関係サーク ル等	3月13日～ 3月21日		10団体	中止	

5 令和2年度平岡公民館事業の成果と課題

(1) 家庭教育総合推進事業

「幼児家庭教育学級（平川公民館と合同開催）」「地域家庭教育学級」

○主な学習内容

幼児家庭教育学級：ヨガ、バルーンアート、絵本の読み聞かせ、人形劇鑑賞など

地域家庭教育学級：5館合同講演会（テーマ：ピンチをチャンスに！親子のコミュニケーション）、子どものスマホの使い方について、マスク作り

○成果

幼児家庭教育学級は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催内容に制限があるなか、出席者がリフレッシュでき有意義な時間となるように内容を工夫しながら実施した。

地域家庭教育学級は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催内容に制限があるなか、平岡小学校PTA文化研修委員との連携を図ることにより、保護者が求めている内容を講座に盛り込み出席者に有意義な時間を提供できるよう工夫しながら実施した。

○課題

幼児家庭教育学級は、新型コロナウイルス感染症対策により講座の開催自体が難しく、1回あたりの参加者数も少なかった。講座内容についても新型コロナウイルス感染症対策のため大幅に制限がかかり参加者からは移動教室に行きたかったなどの声があった。

地域家庭教育学級は、参加人数が少なく全保護者を対象としてチラシを配布することで人数の増加を図り、内容についてもPTA文化研修委員と協議し保護者が求めている内容としているところであるが、参加人数は微増に留まっている。今後は文化研修委員以外の委員も交え実施方法等について検討していく。

(2) 青少年教育推進事業

「ひらおか子ども教室」

○主な学習内容

スライム作り、レクリエーション（クイズ）活動、紙トンボ作り、しゃぼん玉遊び、クリスマスツリー作り

○成果

スライム作り、レクリエーション活動など、参加者が作ってみたい、やってみたい内容を推進員と相談しながら企画し、参加児童に新たな発見や学びを提供することができた。

20名以上の参加があった際は、2グループに分け、三密を避けて広々と活動することができた。

○課題

参加対象児童が少ない平岡地区だが、子どもの要望を取り入れながら、高学年、低学年のニーズに沿うような事業を企画し、学びを深めていく。

また、事業の内容によっては平川公民館とも連携をとり、中学校区での交流を深めていく。

(3) 成人教育推進事業

「わくわく女性倶楽部」「国際理解セミナー」「男性のための料理教室」

「ひらおかハッピータイム（地域交流事業）」

○主な学習内容

わくわく女性倶楽部：新型コロナウイルス対策、骨ナビ、歴史探訪ウォーキング、市終末処理場見学、ハーバリウム

国際理解セミナー：キルギスの生活、モロッコの日本語教育、シリアの文化・社会情勢、ドミニカ・アルゼンチンの歴史文化、台湾の食生活

男性のための料理教室：中止

ひらおかハッピータイム（地域交流事業）：検討中

○成果

わくわく女性倶楽部は、「ひらおかシニアセミナー」と合同で開催するなど、各講座生の交流を図ったほか、「健康」をテーマとしつつ、物づくり講座や移動教室など参加者の意見を取り入れることにより、様々な学習内容を提供することができた。

国際理解セミナーは、様々な分野で活動している講師を招き、私たちが知らない外国の生活や文化について学び、国際理解をより深めるため、受講生の興味・関心に沿った内容を提供することができた。今年度は、安定した受講生を獲得し、講座生の拡大につなげることができた。

男性のための料理教室は、今年度は1回計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により実施することができなかった。

ひらおかハッピータイム（地域交流事業）は、平岡地区の世代間交流を図るため、比較的小さい子どもの参加が多く見込まれる夏休み中、もしくは冬休み中に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、交流できていない状況である。実施できる内容、時期を検討していく。

○課題

わくわく女性倶楽部は、若い世代の参加者が少なく講座生の高齢化が懸念されている。また、講座生の高齢化によりシニアセミナーとのすみ分けが難しくなっている。今後の講座の在り方について検討していきたい。

国際理解セミナーは、受講生が固定化しつつあるものの、新たな受講生の参加を募る

ために今後も市民のニーズを把握し、市民が興味を持っている国（地域）や学習分野についての検討が必要である。

男性のための料理教室は、新型コロナウイルス感染症が収束したら実施していきたい。

ひらおかハッピータイム（地域交流事業）は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、世代間で交流できていない状況である。新型コロナウイルス感染症感染症対策を取りながら、地域の方に参加していただき、子どもと高齢者の交流を図ることができる内容について検討していく。

（４）高齢者いきがい促進事業

「ひらおかシニアセミナー」

○主な学習内容

健康教室、映画鑑賞、防災講座、ウォーキング、園芸講座、移動教室

○成果

第1回に、新型コロナウイルス感染症の知識や予防方法について学ぶことができ、今後の講座や学習に役立てることができた。園芸教室では、草花の水やりの仕方など、普段の手入れについて学び、それぞれ寄せ植えを作ることができた。『平岡地区歴史探訪』ウォーキングでは、市民学芸員より地域の歴史について学ぶことができ、参加者が興味を持てる学習機会を提供することができた。

○課題

講座生の高齢化・減少化に加えて、男性学級生の参加が少ない。新たな講座生の確保と男性学級生の増加に努めるよう、広報や事業内容を改善していく。

（５）各種行事推進事業

「平岡公民館作品展示会」

○主な内容

サークル団体・学校・一般の部作品展示（絵画・写真、書道、手芸、凧展示他）

○成果

公民館まつりの代替行事として作品展示会を開催した。サークルや学校、地域の学習や活動を紹介し、作品を通して交流を深めることができた。また、一般の展示に協力していただいた地域の方が多かった。（新規出品者19名、83点）

期間も3日に分け、密にならないように実施した。

○課題

子どもの作品を見に、多くの家族連れがみられたが、子どもの展示のみ見て帰るという方もいたので、順路を設けたり、案内の工夫をしたりする必要があった。

令和2年度平岡公民館事業実施状況報告

令和3年1月31日現在

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
1	目標1① (ア)地域で子どもを守る体制づくり	青少年健全育成事業	地区住民会議(名幸ヶ丘の会)活動	平岡地区各種団体	通年		18団体	18団体	
2			青少年相談員支部活動	平岡支部青少年相談員	通年		11人	11人	
3			子ども会育成会支部活動	単位子ども会	通年		10団体	10団体	
4			通学合宿	平岡地区の小学生	7月5日～7月7日	中止		2泊3日	23人
5	目標1② (ア)家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	幼児家庭教育学級(すまいる学級)(平川公民館と合同)	2歳から就学前の幼児を持つ保護者	8月～12月	5回	14	8回	33人
6			地域家庭教育学級	平岡小学校児童の保護者	9月～11月	3回	9人	5回	60人
7	目標1③ (ア)公民館における青少年事業の充実	青少年教育推進事業	ひらおか子ども教室	中富・平岡地区の小学生	9月～2月	5回	42人	6回	119人
8	成人式 (記念写真撮影スポットの提供)			H12.4.2～H13.4.1に生まれた平川地区の新成人	1月10日		69人		92人
9	目標2① (イ)社会教育関係団体への支援	利用者懇談会		定期利用団体	3月4日	1回			
10	目標2② (ア)市民への学習機会との連携した公民館活動の充実	社会教育推進員活動		社会教育推進員	通年		10人		10人
11		成人教育推進事業	わくわく女性倶楽部	平岡地区の成人女性	7月～12月	5回	79人	8回	148人
12			国際理解セミナー	市内在住・在勤一般成人	10月～3月	5回	55人	5回	136人

No.	事業名		対象	令和2年度			令和元年度		
				実施期日	回数等	延べ人数	回数等	延べ人数	
13	目標2② (ア)市民 への学習 機会の提 供と地域と 連携した 公民館活 動の充実	成人教育 推進事業	男性のための料理 教室	平岡地区の 成人男性	12月	中止		1回	14人
14			ひらおかハッピータ イム (世代間交流事業)	子どもから 大人まで	12月	検討		1回	16人
15	目標2③ (ア)文化・ 芸術振興 のための 市民活動 の支援	高齢者い きがい促 進事業	ひらおかシニアセミ ナー(高齢者教室)	平岡地区の 60歳以上の 方	7月～2月	8回	119人	9回	167人
16		各種行事 推進事業	平岡公民館文化・ス ポーツまつり代替行 事「平岡公民館作 品展示会」	市民	10月30日～ 11月1日	3日間	420人	2日間	7,640人
17	ロビー展示		各種団体	通年		4団体		10団体	

令和３年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

1 経営方針

市民会館・公民館は、第三期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かでいきいきとした人づくり」の実現に向け、「人生100年時代に向け、誰もがかがやける学び」を支援します。

人生100年時代を迎えるにあたり、生涯にわたって学び、充実した生活を送るため、市民の多種多様な学びに対するニーズが高まっていることから、生涯学習に関する情報を収集し、発信する内容を充実させます。

また、市民の学習する意欲を大切にし、学習活動や文化芸術活動に参加する機会や、その学習成果を生かすことのできる環境づくりを推進します。

そして市民の学習活動が、地域の人づくりや地域の絆づくりに貢献できるよう支援します。

「ウィズコロナ」「アフターコロナ」における学びへの支援に向けて、リアルとバーチャル、オフラインとオンラインの組み合わせなどについて調査研究します。

2 重点施策

市民会館・公民館は、基本目標を実現するための施策の方向性を重点施策として生涯学習・社会教育の充実・発展を図ります。

施策の方向性（１）一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

市民一人ひとりの生涯にわたる主体的な学習活動を支援します。人生100年時代に向け、すべての人の学習意欲に応えられるよう、多様な学習機会の提供や、環境の整備を行います。また、多くの市民が学びの成果を地域で活かし、地域の課題に取り組み、人と人がつながり、支えあう活動を支援します。

施策①公民館運営審議会の意向の反映

市民会館・公民館における各種の事業の企画実施や公民館運営の諸課題について提案し、公民館運営審議会の意向を適切に反映した公民館の運営がなされるよう努めます。

施策②公民館運営の点検と評価

「第三期袖ヶ浦市教育ビジョン」の施策内容を計画的に進めるために、計画内容に基づき事業を実施し、その事業の点検評価を行い、その結果に基づき改善や見直

しを行う事業評価方式（P D C A方式）の取組を継続し、計画の実効性と有効性について検証を行い、効率的な事業の推進のために施策の改善につなげていきます。

施策③多様な主体との連携・協働の推進

地域課題や多様で複雑な社会課題などに、より効果的に対応するため、また、「袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例」の趣旨に沿い、市民、社会教育推進員、社会教育関係団体や地域団体などの各種団体、N P O、学校、企業等との幅広い連携・協働を図るほか、行政の関係部門（子育て部門、保健部門、福祉部門等）との連携・協力を図りながら効果的に施策を実施していきます。

施策④市民への学習機会の提供と情報の発信

市民の多種多様な学習ニーズに応えるため、講座内容を充実させ、様々な学習機会を提供します。また、生涯学習情報を収集し、広報そでがうらやホームページ、SNS等で市民に発信します。学習相談にもきめ細やかに対応することにより、市民の学習活動を支援し、継続した学習の場を提供します。

施策の方向性（2）家庭と地域の教育力の向上

保護者が抱える子育ての不安や悩みに対応し、相談の場づくりや情報提供を充実させるとともに、子育てや家庭教育に関する学習の機会を提供します。また、地域全体で心豊かな青少年育成に取り組みます。

施策①家庭の教育力向上のための支援

家庭は、子どもが社会生活を送るうえで必要となる、基本的な生活習慣や、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を担っています。また、地域や人とのつながりが希薄になる中、身近な地域において家庭教育に取り組む必要が高まっています。

そのため、親を対象に子育てのヒントとなる学習機会や家庭で楽しむ活動の提供と、同じ世代の子どもを持つ親同士のつながりを深める取組を行います。

家庭教育学級では、未就学児の保護者を対象とした学級を中心に、学級内容の見直しを行い、令和3年度より新たな学級・講座に取り組みます。市民会館と平川公民館では「乳幼児家庭教育学級」を合同で、長浦公民館では「子育てパパ応援講座」を、根形公民館では「ワーキングママ支援講座」を、平岡公民館では「お子さんと一緒に！健康な体づくり講座」を、それぞれ全市域を対象に開催し、家庭教育の支援とともに参加者同士の交流を図ります。

また、家庭教育推進協議会に参画し、関係機関が相互に情報共有を図り、総合的な子育て支援に関する取組について協議をします。

施策②地域の教育力の向上

子どもを取り巻く社会環境の変化の中、心豊かな子どもを育成するため、市民会館・公民館では自然体験や社会体験などの体験活動や、学年の枠を超えた児童の交流の場を提供する青少年教育推進事業を地域の方の協力のもと実施しています。また、地域では、青少年相談員や地区住民会議等が通学合宿・デイキャンプ・世代間交流事業や子ども安全パトロール等を実施し、青少年健全育成活動に取り組んでいます。

こうした地域の方との協働による取組により、地域の教育力の向上を図ります。

平川公民館では青少年の健全育成を目的として、地区住民会議「中富ふれあいの会」の活動を支援します。活動の一環として、久留里線活性化プロジェクトにも参画し、「花いっぱい活動」を通じて駅周辺的环境美化を図るなど、活力ある地域づくりを推進します。

公民館における青少年教育推進事業では、社会体験活動や自然体験活動などを推進し、人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」の育成を図ります。

市民会館では「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を、平川公民館では「子どもクラブ」を、平岡公民館では「ひらおか子ども教室」を、引き続き地域の小学生を対象に開催し、様々な体験活動などの機会を提供します。

根形公民館では、小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知します。

また、地域の若者と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育ちあう場所となる「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」を開催します。

施策の方向性（3）つながり、支えあう社会教育の充実

人と人とのつながりが希薄となる中、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくりが一層重要であると言われています。

そのため、自分が暮らす地域の課題や生活上の課題を学習テーマとした講座を開催し、受講者自身の活動へつながるよう支援を行います。そして、受講者の学習意欲の向上と生きがいや充実感を促進します。

また、庁内連携の一層の推進と社会教育関係団体や社会教育推進員等のボランティア団体との連携により公民館活動を充実させ、住民主体の社会教育活動を推進します。

施策①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

市民の学習ニーズや地域課題及び生活上の課題を学ぶ公民館講座を開催します。そして、講座をきっかけとして、受講者が主体となった活動が展開できるよう支援

します。

また、庁内各課及び関係機関・団体との連携により、人と人、人と地域をつなぐ公民館活動の充実に努めます。

袖ヶ浦市や各地区の課題をテーマに実施していく過程をとおして、受講者による自主的な学習活動が展開できるよう支援する「地域人材育成講座」を各館で開催するとともに、その検証等を行う担当者ミーティングを各館の連携により実施します。

市民会館では「さわやかセミナー（働きざかりの男塾）」を社会教育推進員の企画により引き続き実施するなかで、現役世代の男性の地域デビューと公民館の利用の促進に資する事業方法等について検討します。

平川公民館では、園芸講座や、今日的な問題や地域の課題をテーマにした単発講座を開催して、幅広く学習機会を提供します。

長浦公民館では、長浦地区住民会議ながうら青空の会と共催し、公民館で地域住民が気軽に交流できる「溜まり場」などを開催し、次世代リーダーとなる人材の掘り起こしをはじめとする地域支援の仕組みづくりについて引き続き検証します。

平岡公民館では地域の子どもからお年寄りまでの方たちが一緒になって楽しい時間を過ごすことを目的として、「ひらおかハッピータイム（世代間交流事業）」を実施します。

施策②社会教育関係団体の活動への支援

社会教育関係団体や公民館等で活動するサークル等が、自主的な活動を継続できるように、団体の活動の活性化に向けた支援と助言を行います。

市民会館・公民館では、活動団体や個人相互の協力を促すとともに、市民との協働により文化・芸術活動を活性化できるように、展示や発表の機会を提供するなどの様々な支援を行います。

市民会館では音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。

平川公民館では関係諸団体と連携してロビー展示の充実に図り、学習活動の発表機会の提供をすすめます。

長浦公民館ではわが国の伝統音楽である邦楽を子どもや市民が自ら演奏して楽しむ機会を提供するため「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催するとともに、音楽協会に所属する団体と連携し、子どもの文化芸術活動の充実と邦楽の継承者育成を図ります。

根形公民館では実行委員会が主体となり「サークル作品展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークルの学習成果を発表する機会とします。

平岡公民館では、文化・スポーツまつり等でサークルの作品を展示し、サークル

の学習意欲を高めるとともに、学習成果を発表する場を提供します。

施策③社会教育施設的环境整備

地域の生涯学習の拠点として、今後も市民が安全・安心に施設を利用できるように、施設の適切な維持管理と定期的な設備の点検を実施し、その結果に基づき改善を図ります。

市民会館では音響設備の更新工事を、平川公民館では体育室照明のLED化、平岡公民館では空冷ヒートポンプチャラーの更新工事を実施するなど、設備の改善を図ります。

災害時には地域住民の避難所、福祉避難所としての機能を果たすため、その円滑な運営に向けて、避難所運営マニュアルの検証に取り組みます。

令和3年度市民会館・公民館主催事業(案)

基本目標	生涯学習の目標	施策の方向性	施策	事業	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
未来を創る 心豊かで いきいきとした人づくり	人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します	(1)一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実	①公民館運営審議会の意向の反映		公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会	公民館運営審議会
			②公民館運営の点検と評価		教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価	教育委員会の点検と評価
			③多様な主体との連携・協働の推進		社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動	社会教育推進員活動
			④市民への学習機会の提供と情報発信		館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新	館報発行・ホームページ更新
		(2)家庭と地域の教育力の向上	①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(平川と合同)	乳幼児家庭教育学級(市会と合同)	子育てパパ応援講座	ワーキングママ支援講座	お子さんと一緒に！健康な体づくり講座
					小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級 親業訓練入門講座	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	小学校家庭教育学級
		(2)地域の教育力の向上	②地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	子どもクラブ	わんぱく教室	子ども絵画教室	ひらおか子ども教室
					世代間交流	書き初め教室	通学合宿 長浦ジュニアお琴尺八教室	花まる絵画教室 ねがたオープンキャンパス	
		(3)つながり、支えあう社会教育の充実	①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー	女性セミナー	女性セミナー	成人絵画教室	わくわく女性倶楽部
					さわやかセミナー	園芸講座	男性セミナー	地域再発見講座	国際理解セミナー
					舞台コーディネーター養成講座	単発講座	ながうら遊学塾		ひらおかハッピータイム
					単発講座		お正月飾りづくり講習会		
		(3)つながり、支えあう社会教育の充実	高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	うぐいす学級	うぐいす学級	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー
					世代間交流(再掲)				
					地域人材育成講座(テーマ)	未定	防災	教育	防災
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	市民会館まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり	文化・スポーツまつり		
			市民音楽フェスティバル			サークル作品展			
			芸能文化まつり			ねがたファミリーコンサート			
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	③施設の利用促進	利用者懇談会	ロビー展示	ロビー展示	ロビー展示	ロビー展示	ロビー展示		
			利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会		
			利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会	利用者懇談会		
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	③施設の利用促進	施設管理事業	定期的な安全点検	定期的な安全点検	定期的な安全点検	定期的な安全点検	定期的な安全点検		
			音響設備更新工事	体育館照明設備修繕				空冷ヒートポンプチャラー更新工事	